

# 研究から起業へ 学術の知見をビジネスに活かす

笹竹、山崎

# アジェンダ

- **本セッションの目的と概要**
- **自己紹介**
  - 所属、経歴
  - どんなことをしている人なの？
- **どんなことをビジネスにするの？**
  - スタートアップの話が出てくるまでの過程
  - 実際にやっている業務
  - 研究とベンチャーの違い
  - 目指している将来像
- **やってよかったこと、大変だったこと**
  - ベンチャーをやってきてよかったこと、やろうとしてよかったこと
  - ベンチャーをして大変だったこと、立ち上げるまでの困難
- **Q&Aセッション**
  - 聴衆からの質問に答える



途中での質問もOK！

# 本セッションの目的と概要

近年日本では、「スタートアップ育成5か年計画」などのベンチャーに対する取り組みが強化されてきています。そのため、皆さんも起業に関して耳にすることが多くなっていると思います。

興味はあるけどどんな感じなのか？ どうやって取り組んでいるのか？などを聴衆を交えて話し合えるようなセッションをしたいと思います。

今回は研究者の立場から学生ベンチャーに取り組んできた笹竹と教員の立場で事業化を構想中の山崎が対談形式で、具体的な事例を交えてディスカッションしていきます。

研究にもベンチャーにも興味ある方、ぜひご参加をお待ちしております。やりたいことをどう実現していくかの議論をする夜にしましょう！

# 自己紹介

所属、経歴  
どんなことをしている人なの？

# 自己紹介



**笹竹 佑太**  
ささたけ ゆうた

所属

岐阜大学 工学研究科 工学専攻

出身地

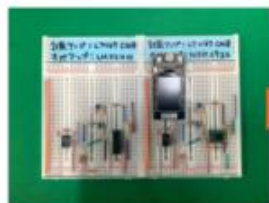
浜松

年齢

28歳

趣味

部品選定・回路作成



回路作成



試作機 1号



試作機 2号



試作機 3号



試作機 4号

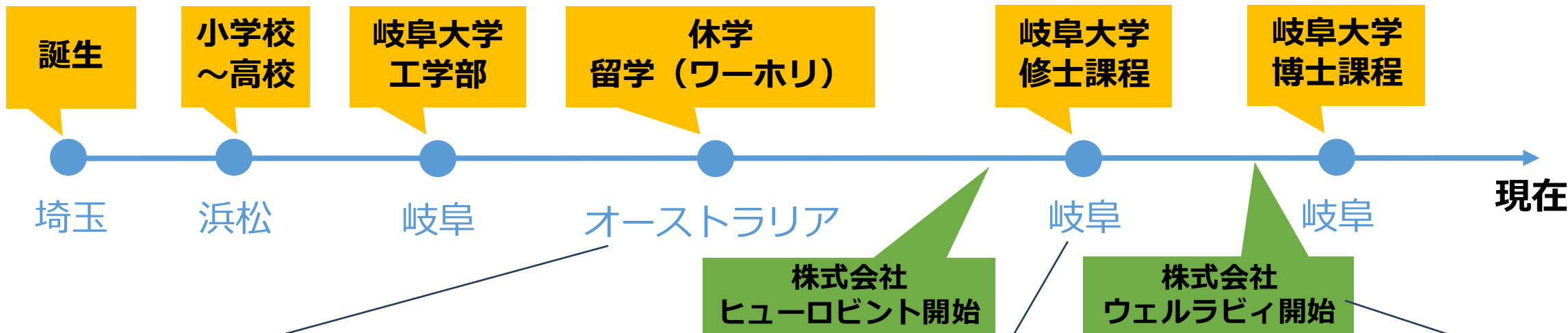


試作機 5号

筋電計測デバイスの開発



# 自己紹介：経歴



ホテルのキッチンで働く



愛知県大学対抗ハッカソン



3DVR看護訓練システムの開発

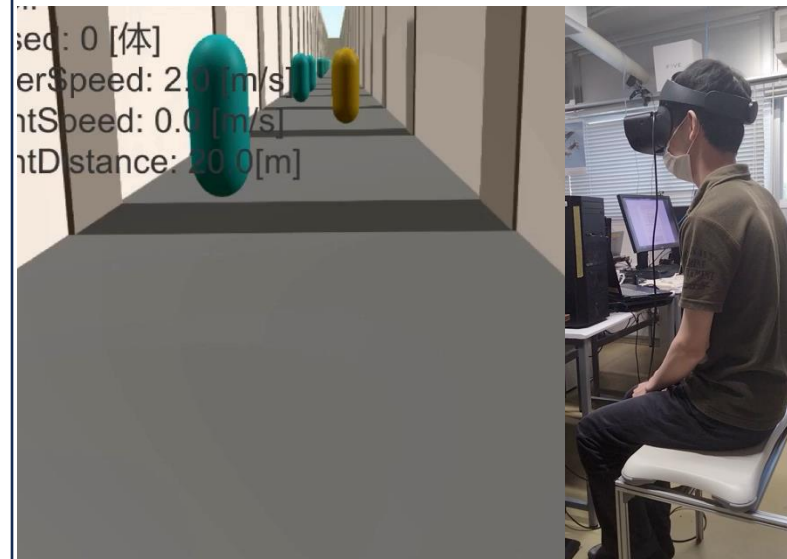
# どんなことをしているの？：研究

## 教育アセスメント



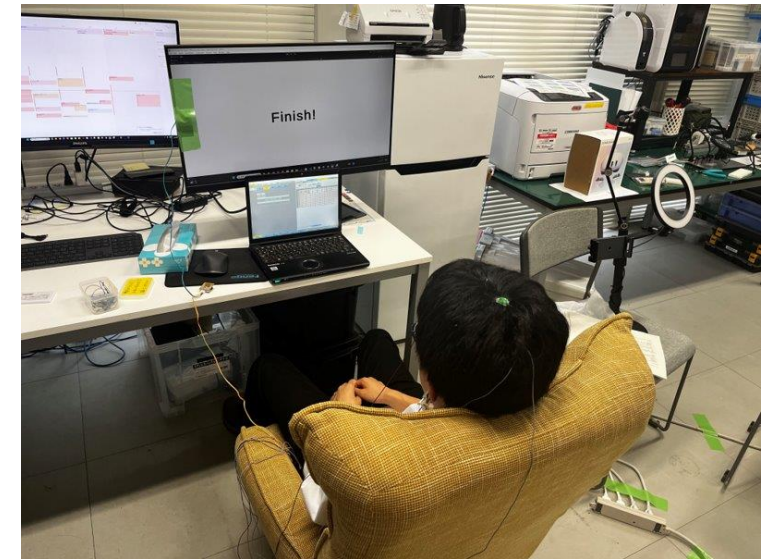
岐阜市の小中学校70校以上に対して2万人以上の学生に一斉に行ってもらったE-アンケートシステムの開発とフィードバックWebシステムの開発を行いました。現在は各務原市や山県市などで実施されています。

## 3DVR訓練システム



学部・修士で3DVRを使用した訓練システムを行っていました。インターフェースを自作し、重心移動だけで仮想空間内を移動することで距離感覚を改善させる研究内容です。

## 脳波計測（事象関連電位P300）



脳波・事象関連電位P300を使用した四肢麻痺患者に対する福祉利用を研究しています。声を出さず、体を動かさずに物を選択してロボットを動かすための研究です。

# どんなことをビジネスにするの？

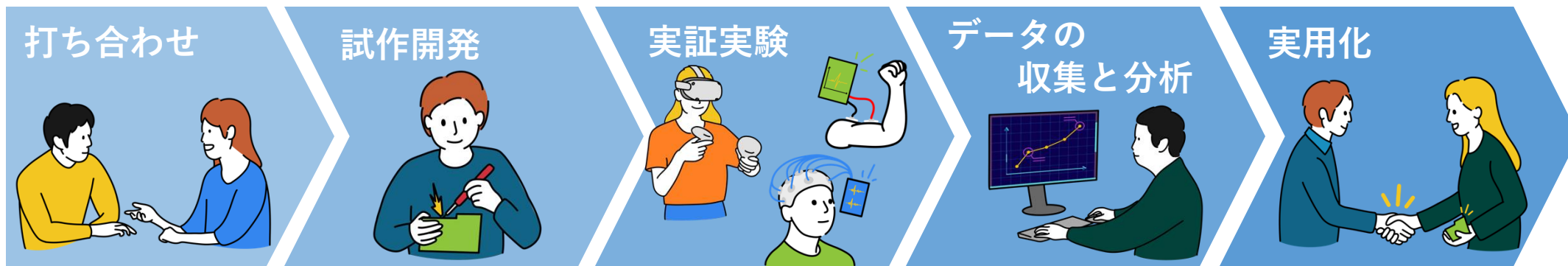
スタートアップの話が出てくるまでの過程  
実際にやっている業務  
研究とベンチャーの違い  
目指している将来像



大学研究者（看護・理学療法・教育系）らと多数連携！

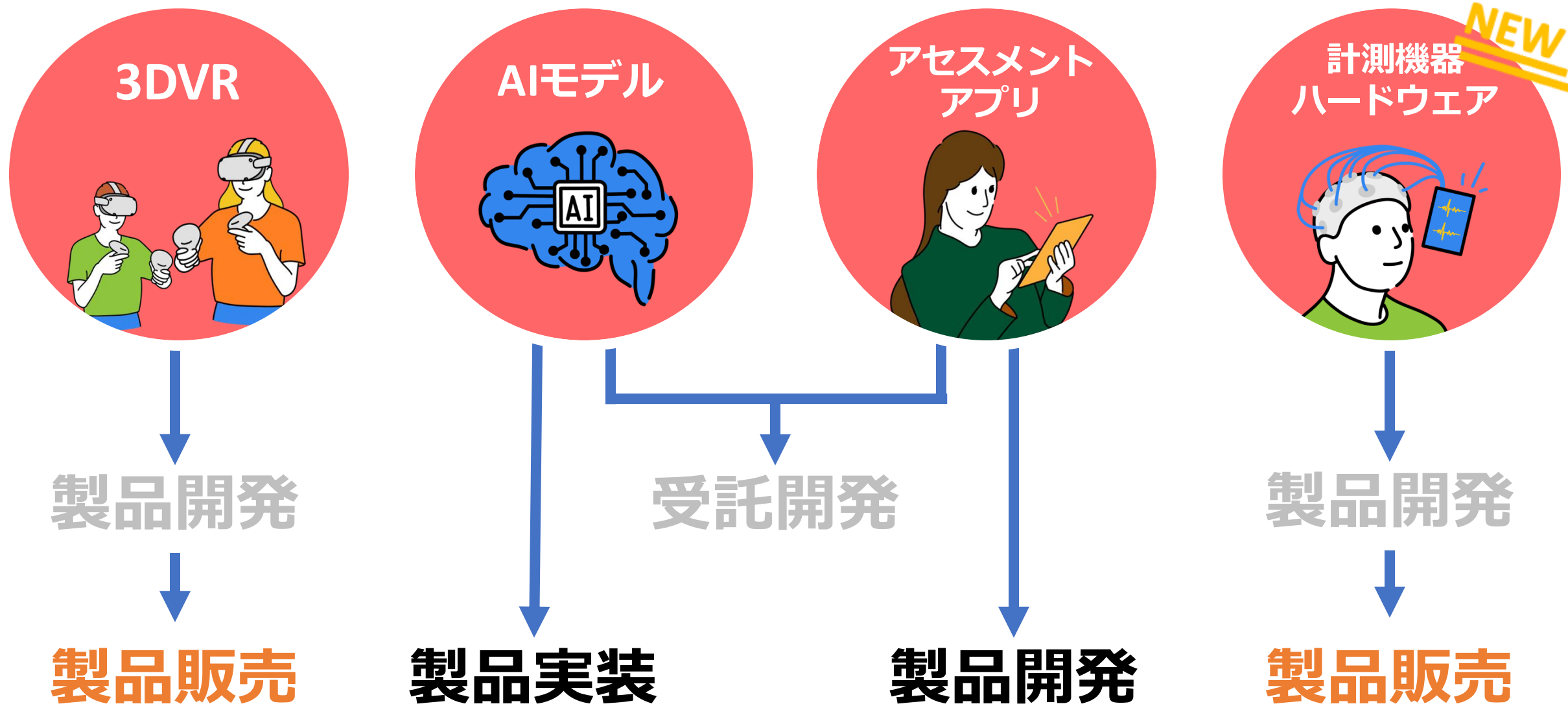
## 医療福祉・教育・健康増進における ローコスト現場DX化が強み！

研究的な視野で試作開発から実証実験などの実装までを迅速にサポート



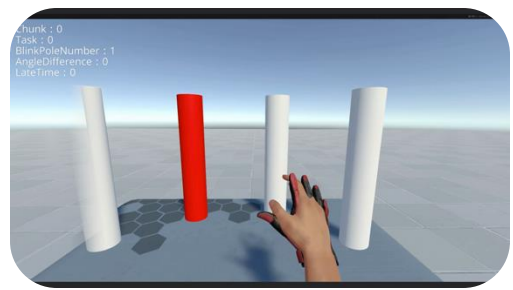
- 異分野研究の融合を行い、実現したシステムの製品化
- 産官学連携を推進する学生ベンチャー企業

# 実際にやっている業務：ベンチャーの活動





# 実際にやっている業務：3DVR訓練システム



**2023.1**  
理学療法士VRシステムの受託開発



**2023.7**  
岐阜県スタートアップ補助金の採択



**2023.12**  
基礎理学療法学会での発表



**2024.1**  
ぎふスタートアップフェスタにて発表

**2023.5**  
3DVR看護訓練システム開発スタート



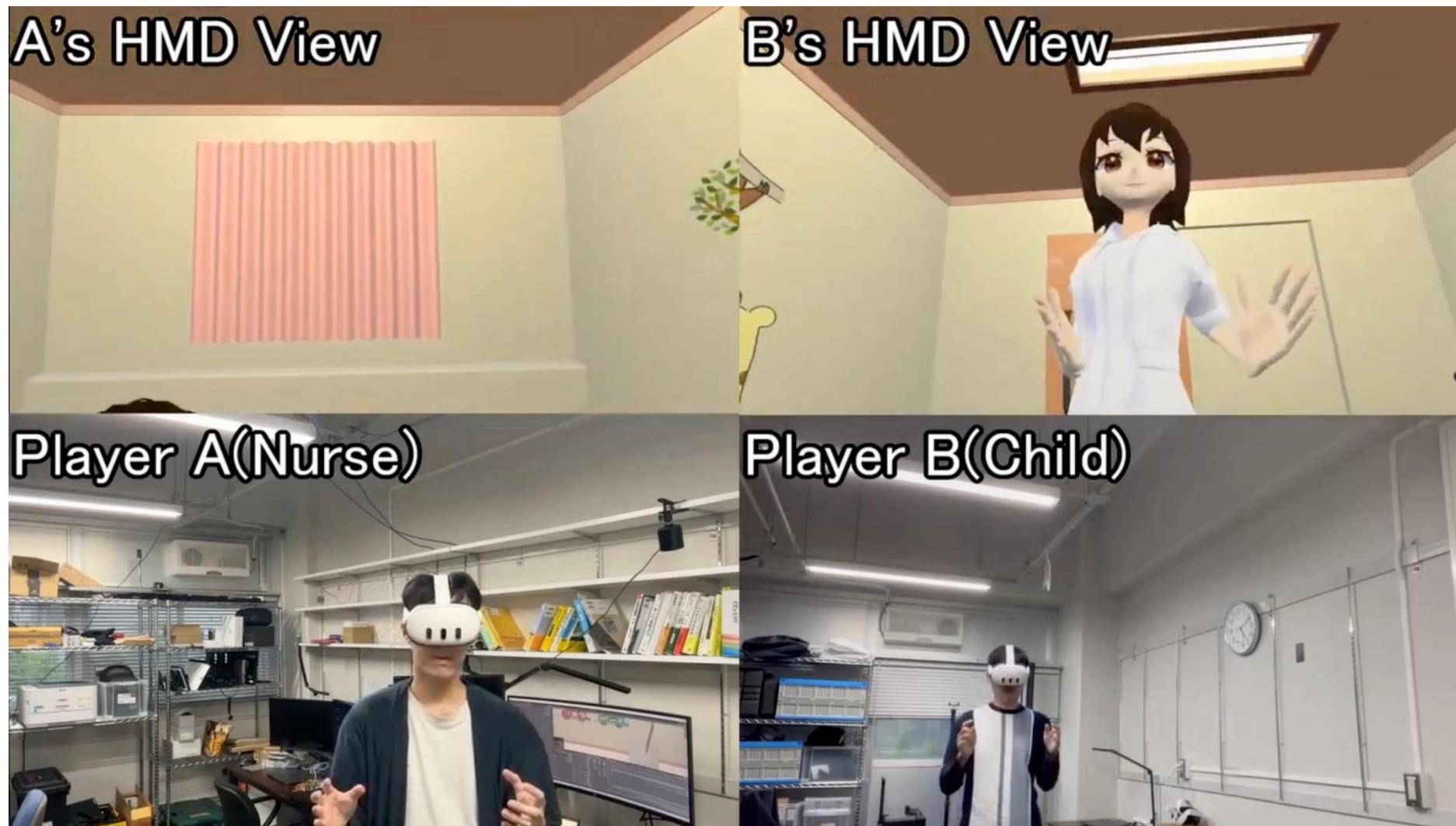
**2023.11**  
看護での3DVR訓練システムの演習



**2023.11**  
岐阜県の事業可能性評価にてA評価



# 実際にやっている業務：看護3DVR訓練システム





# 実際にやっている業務：アプリ×AIデータ解析



**2023.4**  
医療福祉専門学校と協力してPoslookアプリの受託開発



**2023.10**  
Webにデータ送信機能付きアプリのVRアセスメントを受託開発



**2023.10**  
筆跡記録アプリ DrawMasterの開発



**2024.1**  
理学療法士向けのアンケートアプリを受託開発 (今後も続く予定あり)

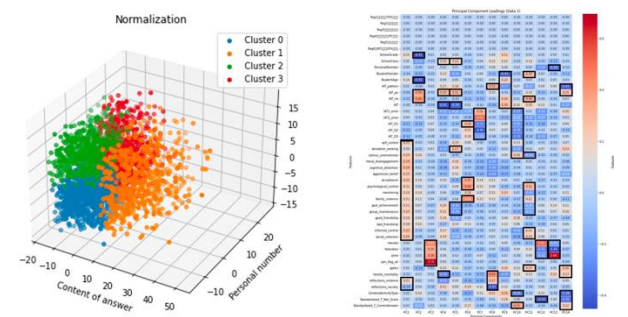
**2023.8**  
黒目計測アプリの GazeMasterをAppStoreにリリース



**2023.12**  
ニーズ・シーズマッチングに目線計測アプリ「目視伝心」を展示

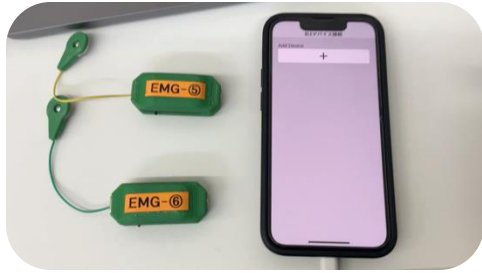


**2024.2**  
教育データの分析・機械学習モデルの開発を心理学研究者と開発

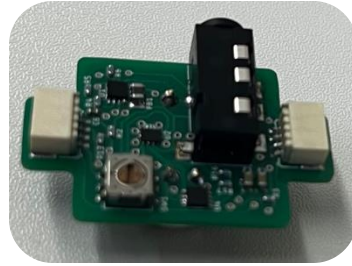




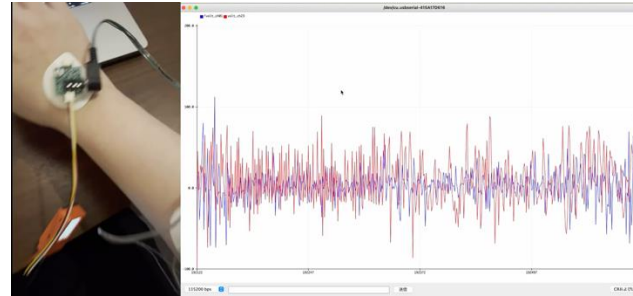
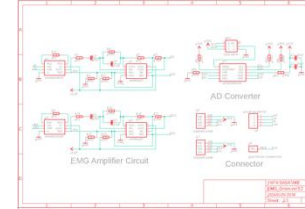
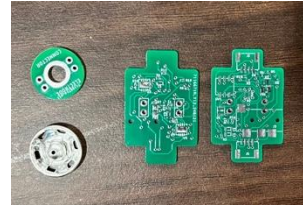
# 実際にやっている業務：筋電回路デバイス開発



**2021.6**  
個人でEMG計測デバイスの開発



**2024.1**  
2channel版のEMGセンサー開発



**2023.12**  
小型計測EMGを自社製品として開発開始



**2024.2**  
大分の理学療法士に筋電デバイスの需要について相談し、開発の方向性を決定



# 目指している将来像：ベンチャーの展望

## 展望①



1. アプリ開発でデータの収集を行う



2. 評価方法のAIモデル化



3. 評価結果のフィードバックシステム（Web等）



4. 通りを一つのサービスとして展開

## 展望②



1. 生体信号の計測ハードウェアを開発



2. データを収集するアプリ等を開発



3. データから評価モデルの開発



4. アプリ・Webでのフィードバックシステム



5. 製品化してシステムを販売・展開

## 展望③



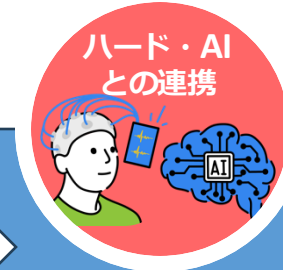
1. 3DVR看護訓練システムの開発



2. オンライン上で訓練ができるようにする



3. 学会などを通して、製品としてサブスク展開



4. AIやハードウェアとの機能連携

# やってよかったこと、大変だったこと

ベンチャーをやってきてよかったこと、やろうとしてよかったこと  
ベンチャーをして大変だったこと、立ち上げるまでの困難



# Q&Aセッション

聴衆からの質問に答える